

令和2年度(2020年度)用

小学校道徳科用

---

---

# 「新訂 あたらしいどうとく」 年間指導計画作成資料 【1年】

---

---

令和2年(2020年)2月14日

※内容は今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

「新訂 あたらしいどうとく 1」年間指導計画作成資料

月時	〔主題名〕 教材名	ねらい	時数	学習活動と主な発問	評価 (学習状況の把握 の視点)	主な関連 活動等
4月	〔楽しい学校〕 1. ようこそ、一 ねんせい p.6～11 (C よりよい学校生 活, 集団生活の 充実)	学校の人々に親し みを持ち, 学校生 活を楽しもうとす る心情を育てる。	1	1 入学式のことについて話し合 う。 2 「ようこそ、一ねんせい」を見 て話し合う。 ◎扉を開いてみましょう。学校生 活にはどんな楽しいことがあり そうですか。 3 自分のこれからの学校生活につ いて考える。 ○自分がいちばん楽しみなことは 何ですか。 ○どうすれば自分もみんなも楽し くなるでしょうか。 4 道徳について, 教師の話を開 く。	〇〇さんは, 学校 生活で楽しみなこ とを見つけ, 友達 といっしょに学校 生活を楽しもうと する思いを持って いたな。  (→「自己の生き方 についての考えを 深める」)	入学式, 各学校行 事
4月 ②	〔時間のきまり〕 2. じゅぎょうが はじまりますよ p.12～13 (A 節度, 節制)	時間を守ることのよ さに気づき, きちん とした生活をしよう とする意欲を育て る。	1	1 学習と教材に向かう気持ちを高 める。 2 「じゅぎょうが はじまります よ」の場面絵を見て話し合う。 ◎先生が「授業が始まります よ。」と言っています。校庭に いる人はどう思うでしょう。 3 時間や生活のリズムを守ろうと 努めた経験について考え, 発表 する。 ○頑張って時間を守ったことや, 遊ぶときとそうでないときの区 別に気をつけたことはあります か。 4 時間を守るために教師が日頃気 をつけていることについての話 を聞く。	〇〇さんは, 自分 の生活を見つめ て, 時間のきまり を守った生活をし たいという思いを 深めていたな。  (→「自己の生き方 についての考えを 深める」)	朝礼, 登下校
5月 ③	〔いつも明るく〕 3. あいさつ p.14～15 (B 礼儀)	基本的な挨拶の仕方 を具体的に理解し, 身近な人々といつも 明るく接しようとし る態度を育てる。	1	1 自分の挨拶の状況を振り返り話 し合う。 2 「あいさつ」の場面絵を見て話 し合う。 ◎挨拶をするときは, どんなこと がいちばん大切ですか。 3 今までの自分について振り返 る。 ○どんなとき, にこにこ笑顔で挨 拶ができましたか。 ○相手は, どんな顔になっていま したか。 4 気持ちのよい挨拶について, 教 師の体験談を聞く。	〇〇さんは, 挨拶 をするとお互い に, にこにこ笑顔 で気持ちよくなる と考えていたな。  (→「道徳的諸価値 の理解」)	あいさつ 運動

5 月	<p>〔お世話になっている人たち〕</p> <p>4. がっこうにはね</p> <p>p.16~17</p> <p>(B 感謝)</p>	<p>日頃自分たちの学校生活を支えてくれたり助けてくれたりしている人々に感謝し、自分ができることをしようとする心情を育てる。</p>	<p>1</p> <p>1 学校にいる人たちについて考える。</p> <p>2 「がっこうにはね」を読んで考える。 ◎「いろいろなひとにお世話になっているんだよ。」という言葉聞いて、そうたさんはどんなことを思ったでしょう。</p> <p>3 この学校で、お世話になっている人に手紙を書く。 ○この学校で、みんなはどんな人にお世話になっていますか。 ○自分がお世話になっている人に伝えたいことや、その人に自分ができることを手紙に書きましょう。</p> <p>4 手紙に書いた伝えたいこと、自分ができることを発表する。</p>	<p>○○さんは、お世話になっている人に伝えたいことや自分ができることを深く考えて、手紙に書いていたな。</p> <p>(→「自己の生き方についての考えを深める」)</p>	学校探検
③	<p>〔自立した生活〕</p> <p>5. きをつけて</p> <p>p.18~19</p> <p>(A 節度, 節制)</p>	<p>危ない場所や遊びを理解し危険から身を守るとともに、物や金銭を大切にす、節度や節制のある態度を育てる。</p>	<p>1</p> <p>1 生活や遊びの中で危険だと思った経験や、物や金銭を大切にすることができなかった経験を発表する。</p> <p>2 「きをつけて」の場面絵を見て話し合う。 ◎毎日の生活で、どんなことに気をつけたら、安全で気持ちのよい生活ができると思いますか。</p> <p>3 これまでの自分の行動を振り返る。 ○これまでに、生活や遊びで気をつけてよかったと思うのは、どんなことですか。</p> <p>4 危険から身を守った事例について、教師の話聞く。</p>	<p>○○さんは、今はまだ、道具箱の整理が得意ではないけれど、家でかたづけをした経験を「すっきりとして気持ちよかった」と振り返っていたな。</p> <p>(→「自己を見つめる」)</p>	交通安全運動
6 月 ④	<p>〔親切な心で〕</p> <p>6. はしのうえのおおかみ</p> <p>p.20~22</p> <p>(B 親切, 思いやり)</p>	<p>身近な人たちに温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。</p>	<p>1</p> <p>1 親切にしてもらってうれしかった経験を発表する。</p> <p>2 「はしのうえのおおかみ」を読んで話し合う。 ◎くまの後ろ姿を見送っていたおおかみは、どんなことを考えていますか。</p> <p>3 今までの自分について振り返る。 ○今日の学習で心に残ったことを発表しましょう。</p> <p>4 親切にしてもらってうれしかった経験や親切にしてくれた経験など、教師の体験談を聞く。</p>	<p>○○さんは、友達や自分よりも弱い立場の人たちに、温かい心で接し、自分もみんなも喜べる解決の仕方を考えていたな。</p> <p>(→「自己を見つめる」)</p>	

6 月 ④	<p>〔命の温かさ〕</p> <p><b>7. ハムスターのあかちゃん</b></p> <p>p.23～25</p> <p>(D 生命の尊さ)</p>	<p>身近な生き物の誕生や成長の様子を優しく見つめ、命あるものを大切にしようとする態度を育てる。</p>	1	<p>1 身近な生き物との触れ合いの経験を話す。</p> <p>2 「ハムスターの あかちゃん」を読んで話し合う。</p> <p>◎これから大きくなる赤ちゃんへ語りかけましょう。</p> <p>3 生き物と触れ合ってよかったなという経験を話す。</p> <p>○生き物と触れ合ってよかったなという経験はありませんか。</p> <p>4 生命のすばらしさを感じた体験について、教師の話聞く。</p>	<p>〇〇さんは、小動物に対して優しく接していたな。生命を大切にしている心がある。</p> <p>(→「<b>道徳的諸価値の理解</b>」)</p>	飼育栽培活動
	<p>〔みんな同じように〕</p> <p><b>8. みんな いっしょ</b></p> <p>p.26～27</p> <p>(C 公正, 公平, 社会正義)</p>	<p>自分の好き嫌いにとらわれず、誰に対しても公正、公平に接しようとする心情を育てる。</p>	1	<p>1 遊んでいるときの様子について話し合う。</p> <p>2 「みんな いっしょ」を読んで話し合う。</p> <p>◎みんなで仲良く遊ぶために大切なことはどんなことだと思いますか。</p> <p>3 今までの自分について振り返る。</p> <p>○あなたは友達に対して、みんなに同じように声をかけたり、仲良くしたりしたことはありますか。</p> <p>4 公正、公平について、教師の体験談を聞く。</p>	<p>〇〇さんは、クラスの人々と公平に接することの大切さに気づき、自分を振り返っていたな。</p> <p>(→「<b>自己を見つめる</b>」)</p>	
	<p>〔頑張る心〕</p> <p><b>9. うかんだ うかんだ</b></p> <p>p.28～29</p> <p>(A 希望と勇気, 努力と強い意志)</p>	<p>自分の目標に向かって、一生懸命努力しようとする意欲を育てる。</p>	1	<p>1 もっとできるようになりたいと思っていることを発表する。</p> <p>2 「うかんだ うかんだ」を読んで話し合う。</p> <p>◎「ぼく」は、どんな気持ちで毎日何度も練習したと思いますか。</p> <p>3 教科書p. 31 「がんばりシール」を行う。</p> <p>○今、頑張っていることを、これからどのように続けていきたいですか。</p> <p>4 一生懸命努力してできるようになったことについて、教師の説話を聞く。</p>	<p>〇〇さんは、自分の願いを実現するために、不安に思うことがあっても、前向きに頑張っていることを振り返っていたな。</p> <p>(→「<b>自己を見つめる</b>」)</p>	夏休み、体育
7 月 ②	<p>〔植物を育てる〕</p> <p><b>10. ぼくの あさがお</b></p> <p>p.32～33</p> <p>(D 自然愛護)</p>	<p>身近な自然に親しみ、優しい心で動植物の世話をしようとする心情を育てる。</p>	1	<p>1 生活科で植物を栽培したときの体験について話し合う。</p> <p>2 「ぼくの あさがお」を読んで話し合う。</p> <p>◎「ぼく」は、どんなことを考えて、あさがおに「ごめんね。」と何回も言ったのでしょうか。</p> <p>3 これまでの自分の経験を振り返り、話し合う。</p> <p>○動物や植物の世話では、どんなことに気をつけていますか。</p> <p>4 自然と親しみながら、愛情を持って動植物に接することの大切さについて、教師の話聞く。</p>	<p>〇〇さんは、生活科で取り組んでいる栽培活動を振り返り、これからも毎日忘れずに世話をしようとする意欲を新たにしていたな。</p> <p>(→「<b>自己の生き方についての考えを深める</b>」)</p>	飼育栽培活動

7 月 ②	<p>〔すがすがしい心〕</p> <p>11. にじが でた</p> <p>p.34~35</p> <p>(D 感動, 畏敬の念)</p>	<p>美しいものや清らかなものに感動する心情を育てる。</p>	1	<p>1 虹を見た体験について発表し合う。</p> <p>2 「にじが でた」を読んで話し合う。</p> <p>◎子供たちは虹が消えても空を見上げていましたね。どんな気持ちになったでしょう。</p> <p>3 今までの自分の生活を振り返る。</p> <p>○生活の中で「美しいな」と感じたことはありますか。それはどんなときですか。</p> <p>4 美しいものや清らかなものに出会って感動した、教師の体験談を聞く。</p>	<p>〇〇さんは、美しいなあと思う気持ちがたくさんあって、美しいと思う気持ちがあることよさに気づいていたな。</p> <p>(→「自己を見つめる」)</p>	読書週間
	<p>〔感謝の気持ちを伝える〕</p> <p>12. みんな だれかに</p> <p>p.36~38</p> <p>(B 感謝)</p>	<p>日頃、自分たちの生活を支えてくれたり助けてくれたりしている人々に感謝し、自分ができることをしようとする心情を育てる。</p>	1	<p>1 「ありがとう」を伝えた経験について考える。</p> <p>2 「みんな だれかに」を読んで考える。</p> <p>◎初めにご飯をあげた牛やニワトリからミルクや卵をもらっているとき、子供たちはどんなことを思っているのでしょうか。</p> <p>3 今までの自分を振り返って、支え合って生活していることと感謝することについて考える。</p> <p>○今まで、誰かに助けられたり、誰かを助けたりしたことがありますか。そのとき、どんなことを思いましたか。</p> <p>4 「ありがとう」の気持ちを伝えるために、自分ができることを考える。</p>	<p>〇〇さんは、お世話になっている人に感謝の気持ちを伝えるため、どんな言葉や行動にするかを深く考えていたな。</p> <p>(→「自己の生き方についての考えを深める」)</p>	食育
9 月 ④	<p>〔自分の仕事〕</p> <p>13. ぼくの しごと</p> <p>p.39~41</p> <p>(C 勤労, 公共の精神)</p>	<p>家族の役に立つ喜びを感じ、家族やみんなのために進んで働こうとする心情を育てる。</p>	1	<p>1 みんなのためにしている仕事について話し合う。</p> <p>2 「ぼくの しごと」を読んで話し合う。</p> <p>◎「やったあ。」と喜んだ「ぼく」は、どんなことを考えていたでしょう。</p> <p>3 生活を振り返り、話し合う。</p> <p>○仕事をしてよかったな、うれしかったな、と思ったのはどんなときですか。</p> <p>4 仕事をして役に立てた喜びを感じた経験について、教師の話聞く。</p>	<p>〇〇さんは、みんなのために仕事を頑張りたいと考え、みんながうれしいと自分もうれしいと考えていたな。</p> <p>(→「自己の生き方についての考えを深める」)</p>	当番活動, 生活科
	<p>〔生きていることのすばらしさ〕</p> <p>14. どきどき どっきんぐ</p> <p>p.42~43</p> <p>(D 生命の尊さ)</p>	<p>生きていることを喜び、生命を大切にしようとする心情を育てる。</p>	1	<p>1 自分の鼓動について知る。</p> <p>2 「どきどき どっきんぐ」を読んで話し合う。</p> <p>◎「わたし」はどうして「とってもふしぎだな。」と思ったのでしょうか。</p> <p>3 自分や人や動植物が「生きているんだな」と感じた経験について話し合う。</p> <p>○「生きているんだな」と感じたことはどんなことですか。</p> <p>4 児童自身の命の大切さについて、教師の説話を聞く。</p>	<p>〇〇さんは、うさぎを抱っこしているときと、お母さんに抱っこしてもらっているときの気持ちを、いろいろとよく考えていたな。</p> <p>(→「物事を多面的・多角的に考える」)</p>	生活科

9 月 ④	<p>〔ほかの国の友達〕</p> <p>15. ぼくと シャオミン</p> <p>p.44～45</p> <p>(C 国際理解, 国際親善)</p>	<p>他国の人々に親しみを持ち, 自分たちと異なる文化のよさに気づいて積極的に関わっていこうとする心情を育てる。</p>	1	<p>1 「1, 300, 000, 000」(13億)と書かれた紙を示し, 何を表しているか話し合う。</p> <p>2 「ぼくと シャオミン」を読んで話し合う。 ◎言葉も好きな食べ物も得意なことも違う二人がなぜ仲良しなのでしょう。</p> <p>3 ほかの国の友達ができたらしてみたいことを発表する。 ○ほかの国の友達ができたら, いっしょにどんなことをしてみたいですか。</p> <p>4 NHKアニメーション「でこぼこフレンズ」主題歌「ぼくとときみ」を聴く。</p>	<p>〇〇さんは, ほかの国の人々に親しみを持ち, 自分たちとは違うことによさがあると気づいていたな。</p> <p>(→「道徳的諸価値の理解」)</p>	
	<p>〔勇気を出して〕</p> <p>16. ダメ</p> <p>p.47～49</p> <p>(A 善悪の判断, 自律, 自由と責任)</p>	<p>よいと思ったことは, 恐れなくて, 勇気を持って行おうとする意欲や態度を育てる。</p>	1	<p>1 友達にはいけないことをしようと誘われたとき, どうするか発表する。</p> <p>2 「ダメ」を読んで話し合う。 ◎「ぼく」や「くまくん」に手紙を書きましょう。</p> <p>3 今までの自分を振り返る。 ○勇気を出して「ダメ。」って言ったことがありますか。</p> <p>4 勇気を持って行動できなかったことで今でも心に残っていることについて, 教師の体験談を聞く。</p>	<p>〇〇さんは, 自分で正しいと思うことをするには勇気を持って伝えることが大切だと気づいていたな。</p> <p>(→「道徳的諸価値の理解」)</p>	
10 月 ④	<p>〔友達っていいな〕</p> <p>17. こころはっば</p> <p>p.50～52</p> <p>(B 友情, 信頼)</p>	<p>友達と進んで関わり, 仲良くしようとする心情を育てる。</p>	1	<p>1 小学校に入学して, どのように友達ができたか思い出し, 発表する。</p> <p>2 「こころはっば」を読んで話し合う。 ◎飛んでいくこころはっばを追いかけてながら, みんなはどんなことを思ったでしょう。</p> <p>3 友達がいてよかったと思う経験を話し合う。 ○友達がいてよかった, うれしいなど思うのはどんなときですか。</p> <p>4 クラスのみんなが声をかけながら仲良く活動する様子について, 教師の話聞く。</p>	<p>〇〇さんは, 役割演技の中で, 4匹の明るい気持ちを考え, 表現していたな。</p> <p>(→「道徳的諸価値の理解」)</p>	
	<p>〔わがままな行い〕</p> <p>18. かぼちゃのつる</p> <p>p.53～55</p> <p>(A 節度, 節制)</p>	<p>周囲の人と自分のことを考え, わがままをしないで生活しようとする心情を育てる。</p>	1	<p>1 本時の教材について知る。</p> <p>2 「かぼちゃの つる」を読んで話し合う。 ◎トラックのタイヤにつるを切られ, 泣いてしまったかぼちゃは, どんなことを思ったでしょう。</p> <p>3 これまでの自分を振り返る。 ○かぼちゃのように, やりすぎて失敗してしまった, 今度からは気をつけるぞ, と思ったことはありますか。</p> <p>4 節度, 節制について, 教師の体験談を聞く。</p>	<p>〇〇さんは, 節度のある生活が自分にとっても周囲の人にとっても気持ちがよいと気づいていたな。</p> <p>(→「道徳的諸価値の理解」)</p>	

10 月 ④	<p>〔最後まで粘り強く〕</p> <p>19. こぐまのらっぱ</p> <p>p.56～59</p> <p>(A 希望と勇気, 努力と強い意志)</p>	<p>自分がやらなくてはならないことは、最後まで粘り強く行おうとする心情を育てる。</p>	1	<p>1 自分でやり遂げなければならぬことを発表する。</p> <p>2 「こぐまのらっぱ」を読んで話し合う。</p> <p>◎練習をやめていたこぐまが、練習を始めたのは、どんなことを考えたからでしょう。</p> <p>3 自分の経験を振り返る。</p> <p>○自分が頑張っていることには、どんなことがありますか。そのとき、どんな気持ちでしたか。</p> <p>4 努力に関する教師の体験談を聞く。</p>	<p>〇〇さんは、最後まで粘り強く取り組んだときの達成感を思い出して振り返っていたな。</p> <p>(→「自己を見つめる」)</p>	学芸会, 音楽会
	<p>〔きまりの大切さ〕</p> <p>20. よりみち</p> <p>p.60～61</p> <p>(C 規則の尊重)</p>	<p>学校や家庭でのきまりや規則の大切さを知り、きまりや規則を守ろうとする心情を育てる。</p>	1	<p>1 毎日の登下校の様子について話し合う。</p> <p>2 「よりみち」を読んで話し合う。</p> <p>◎お母さんの涙を見たみさきが、どんなことを考えているか、話し合しましょう。</p> <p>3 きまりの大切さについて話し合う。</p> <p>○きまりには、ほかにどんなものがありますか。</p> <p>○きまりを守ることは、なぜ大切なのでしょうか。</p> <p>4 自分の生活を振り返る。</p>	<p>〇〇さんは、きまりを守れた経験を自分の生活の中から見つけ、そのときの気持ちも振り返っていたな。</p> <p>(→「自己を見つめる」)</p>	交通安全運動
11 月 ④	<p>〔家族の人の願い〕</p> <p>21. かやねずみのおかあさん</p> <p>p.62～66</p> <p>(C 家族愛, 家庭生活の充実)</p>	<p>家族の優しい心遣いや努力に感謝し、家族のためにできることは進んでやろうとする心情を育てる。</p>	1	<p>1 家族について感じていることを発表する。</p> <p>2 「かやねずみのおかあさん」を読んで話し合う。</p> <p>◎キツネに追われながら、お母さんはどんなことを考えていたでしょう。</p> <p>3 自分の家族について話し合う。</p> <p>○家の人がみなさんを心配したり、叱ったりするのはなぜでしょう。</p> <p>4 家族愛に関する教師の体験談を聞く。</p>	<p>〇〇さんは、子供のことを思う母親の立場で考えることで、家族の大切さに思いを深めていたな。</p> <p>(→「物事を多面的・多角的に考える」)</p>	
	<p>〔いつも正直に〕</p> <p>22. どんぐり</p> <p>p.67～69</p> <p>(A 正直, 誠実)</p>	<p>うそをついたりごまかしたりしないで、明るい心で生活しようとする心情を育てる。</p>	1	<p>1 「正直」と「うそ」について、考えていることを話し合う。</p> <p>2 「どんぐり」を読んで話し合う。</p> <p>◎ようすけが、さっきよりもっともっと胸がどきどきしたのはどうしてですか。</p> <p>3 自分の生活を振り返る。</p> <p>○ようすけのように、うそをついたりごまかしたりしたことはありますか。反対に、正直になったことはありますか。そのときの気持ちはどうでしたか。</p> <p>4 正直, 誠実に関わる教師の体験談を聞く。</p>	<p>〇〇さんは、うそをついてしまったときの後ろめたさを感じ、明るい心で生活するよさを自分のこととして考えていたな。</p> <p>(→「自己の生き方についての考えを深める」)</p>	

11月	④	〔わたしたちの国や町〕 23. みつけて みよう p.70～72 (C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度)	我が国や自分の暮らす町に親しみ、愛着を持って生活しようとする心情を育てる。	1	1 パズル当てクイズをする。 2 「みつけて みよう」を見て発表し合う。 ◎この町の灯台のように、わたしたちの町にも自慢できるもの、すてきなところはありませんか。 3 教師の提示する写真を基に、自分たちの町のすてきだところやものを発表し合う。 ○わたしたちの町のすてきなところをもっと見つけてみよう。どんなところがすてきかな。 4 学習を振り返る。	〇〇さんは、自分の町のすてきなところについて、そこで遊んだときの自分の思いを振り返りながら、よく考えていたな。  (→「自己を見つめる」)	生活科
12月	②	〔優しい気持ち〕 24. はなばあちゃんが わらった p.73～75 (B 親切、思いやり)	友達やお年寄りなどに優しい気持ちを持ち、相手を大切に思う心情を育てる。	1	1 友達に親切にしてもらった経験について話し合う。 2 「はなばあちゃんが わらった」を読んで話し合う。 ◎ガッツポーズをしたときの、ゆうたやまほはどんな顔をしているでしょう。なぜそう思ったのかも考えましょう。 3 自分の生活を振り返りながら話し合う。 ○困っているお年寄りや友達に優しくしてよかったなど思ったことはありませんか。 4 親切にして喜ばれたこと、親切にされてうれしかったことについて、教師の体験談を聞く。	〇〇さんは、「いいこと」をたくさん考えて、どうすれば喜んでもらえるのかを真剣に考えていたな。  (→「物事を多面的・多角的に考える」)	
	②	〔挨拶の心〕 25. おうだんぼどうで p.76～77 (B 礼儀)	気持ちを込めた挨拶の大切さを知り、自分から進んで人に明るく接しようとする心情を育てる。	1	1 挨拶について話し合う。 2 「おうだんぼどうで」を読んで話し合う。 ◎渡った後、たっくんは、どんな気持ちでお辞儀をしたのでしょうか。 3 今までの自分について振り返る。 ○気持ちを込めて挨拶ができていますか。 4 学校や家庭以外の場における気持ちを込めた挨拶について、教師の話聞く。	〇〇さんは、主人公になりきって役割演技をして、いろいろな気持ちを考えていたな。  (→「物事を多面的・多角的に考える」)	あいさつ運動
1月	③	〔きまりを守って使う〕 26. みんなのボール p.78～79 (C 規則の尊重)	みんなで使うものを大切に扱おうとする心情を育てる。	1	1 みんなで使うものには、どんなものがあるか考える。 2 「みんなの ボール」を読んで話し合う。 ◎「ぼくも、わたしも」と校庭に飛び出していったみんなの気持ちを書き、話し合ひましょう。 3 今までの自分について振り返る。 ○みんなが使うものを、気持ちよく使うためには、どんなことに気をつけたらいいのでしょうか。 ○みんなで使うものを大切にできたと思うこと、できなかったと思うことはありますか。 4 規則の尊重に関わる教師の体験談を聞く。	〇〇さんは、「ぼくも、わたしも」と、どうしてみんなが校庭に飛び出していったのか、いろいろな立場の人の気持ちになって考えていたな。  (→「物事を多面的・多角的に考える」)	係活動

1 月 ③	<p>〔自分のよさ〕</p> <p><b>27. ええところ</b></p> <p>p.80～83</p> <p>(A 個性の伸長)</p>	<p>自分の特徴に気づき、長所を大切にしようとする心情を育てる。</p>	1	<p>1 教材「ええところ」を読む。</p> <p>2 教材「ええところ」を基に話し合う。</p> <p>◎ともちゃんが「いちばんええところ」を見つけてくれたとき、あいちゃんはどうな気持ちだったでしょう。</p> <p>3 自分と友達の「ええところ」について考える。</p> <p>○友達の「ええところ」を見つけましょう。</p> <p>○自分の「ええところ」はどんなところですか。</p> <p>4 個性に関する教師の体験談を聞く。</p>	<p>〇〇さんは、友達がくれた「ええところ」カードを基に、自分の「ええところ」に気づいていたな。</p> <p>(→「自己を見つめる」)</p>
	<p>〔よいこと、悪いことを区別して〕</p> <p><b>28. それって、おかしいよ</b></p> <p>p.84～86</p> <p>(A 善悪の判断、自律、自由と責任)</p>	<p>よいことと悪いことを区別し、よいと思うことを進んで行おうとする心情を育てる。</p>	1	<p>1 よいことと悪いことの区別について考える。</p> <p>2 「それって、おかしいよ」を読んで話し合う。</p> <p>◎「いれて。」と言って無理やり横入りしようとしたまさくんのことを、「ぼく」はどう思いましたか。</p> <p>3 今までの自分について振り返る。</p> <p>○よいことと悪いことをしっかり区別できたことはありますか。</p> <p>○よいと思ったことを勇気を出して行ったとき、どんな気持ちでしたか。</p> <p>4 善悪の判断をして、よいと思ったことを勇気を出して行っていた児童に関する教師の話聞く。</p>	<p>〇〇さんは、自分の善悪の判断ができたときのことや、よいと思ったことを勇気を出して行ったときの気持ちを思い出していたな。</p> <p>(→「自己を見つめる」)</p>
2 月 ④	<p>〔友達を思う心〕</p> <p><b>29. 二わの ことり</b></p> <p>p.87～89</p> <p>(B 友情、信頼)</p>	<p>友達と仲良くし、思いやりを持って助け合っていこうとする心情を育てる。</p>	1	<p>1 友達との生活を振り返って発表し合う。</p> <p>2 「二わの ことり」を読んで話し合う。</p> <p>◎みそさざいは、やまがらの家へ行きながら、どんなことを思っていたのでしょうか。</p> <p>3 自分たちの友達関係について考え、話し合う。</p> <p>○友達と仲良くするために、あときは自分がこうすればよかったなど思うことができましたか。</p> <p>4 友達に関する歌を歌ったり、詩を読んだりする。</p>	<p>〇〇さんは、友達と仲良くするためには、どんなことが大切なのか考えていたな。</p> <p>(→「自己の生き方についての考えを深める」)</p>
	<p>〔思いやりの心〕</p> <p><b>30. ぼくの はな さいたけど</b></p> <p>p.90～93</p> <p>(B 親切、思いやり)</p>	<p>身近な人たちに温かい心で接し、相手のことを考えて親切にしようとする心情を育てる。</p>	1	<p>1 ほかの人の立場を考えた経験を、アンケートを基に話し合う。</p> <p>2 「ぼくの はな さいたけど」を読んで話し合う。</p> <p>◎トトは、どんなことを考えて、「一つのこしておくよ。」と言ったのでしょうか。</p> <p>3 自分たちの生活のことを話し合う。</p> <p>○ほかにの人に親切にしてあげてよかったことはありますか。そのときはどんな気持ちでしたか。</p> <p>4 親切、思いやりに関する教師の体験談を聞く。</p>	<p>〇〇さんは、自分のことよりも相手のことを考えて行動しようとする考えを述べていたな。</p> <p>(→「道徳的諸価値の理解」)</p>

2 月	<p>〔たった一つの命〕</p> <p>31. いのちが あって よかった</p> <p>p.94～97</p> <p>(D 生命の尊さ)</p>	<p>かけがえのない生命を大切にしようとする態度を育てる。</p>	1	<p>1 命に関わる経験について話し合う。</p> <p>2 「いのちが あって よかった」を読んで話し合う。</p> <p>◎「なまえをよんでもおきないときは、しぬんじゃないかとおもったよ。」というお父さんの言葉を聞いて、「わたし」はどんなことを心の中で考えたでしょう。</p> <p>3 自己を見つめる。</p> <p>○命を大切にしないといけないと思ったのは、どんなときですか。</p> <p>4 生命の尊さに関する教師の話聞く。</p>	<p>○○さんは、教材の主人公の気持ちをいろいろな想像することで、命の大切さについて考えていたな。</p> <p>(→「自己の生き方についての考えを深める」)</p>	安全指導
	④	<p>〔正直で素直な心〕</p> <p>32. あのね</p> <p>p.98～101</p> <p>(A 正直, 誠実)</p>	<p>うそをついたりごまかしたりしないで、素直にのびのびと生活しようとする心情を育てる。</p>	1	<p>1 うそをついたりごまかしたりしたことについて話し合う。</p> <p>2 「あのね」を読んで話し合う。</p> <p>◎ブランコをこぎながら、チッチとトービーはどんなことを考えていたでしょう。</p> <p>3 今までの生活を振り返って話し合う。</p> <p>○うそをついたりごまかしたりしないで、よかったことはありますか。</p> <p>4 正直, 誠実に関する教師の体験談を聞く。</p>	<p>○○さんは、自分の体験から、うそをついたりごまかしたりしないでよかったことを振り返って、自己を見つめていたな。</p> <p>(→「自己を見つめる」)</p>
3 月	<p>〔生き物に優しい気持ちで〕</p> <p>33. ぼくの しろくま</p> <p>p.102～104</p> <p>(D 自然愛護)</p>	<p>身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。</p>	1	<p>1 家や学校で飼育している動物について話し合う。</p> <p>2 「ぼくの しろくま」を読んで話し合う。</p> <p>◎しろくまがそばにいて、ただで、「ぼく」がくふふふって笑いたくなるのは、どんなことを思っているからでしょう。</p> <p>3 自分の身近にいる動物や植物との関わりについて話し合う。</p> <p>○動物や植物のことを大切な友達と感じたことはありますか。</p> <p>4 動植物愛護に関する教師の体験談を聞く。</p>	<p>○○さんは、教室で飼っている金魚の世話について振り返り、毎日餌をやるだけでなく、声をかけてあげようと発言していたな。</p> <p>(→「自己の生き方についての考えを深める」)</p>	生活科
	②	<p>〔楽しい学級〕</p> <p>34. もう すぐ 二ねんせい</p> <p>p.105～107</p> <p>(C よりよい学校生活, 集団生活の充実)</p>	<p>友達といっしょに自分たちの学級を大切にしようとする心情を育てる。</p>	1	<p>1 学校生活での楽しい経験を話し合う。</p> <p>2 「もう すぐ 二ねんせい」を読んで話し合う。</p> <p>◎このお話のクラスのいいところはどんなところでしょうか。</p> <p>3 教科書p.109「1ねん〇くみのいいところさがし」を行う。</p> <p>○このようないいところがたくさんあるクラスにするために、どんなことが大切だと思いますか。</p> <p>4 クラスのよい点についての教師の話聞く。</p>	<p>○○さんは、教材の中のクラスや自分たちのクラスのいろいろなよさを、しっかりと考えていたな。</p> <p>(→「物事を多面的・多角的に考える」)</p>

適 宜	<p>〔うそやごまかしを しないで〕 情報モラル</p> <p>いたずらがき</p> <p>p.110～112</p> <p>(A 正直, 誠実)</p>	<p>うそやごまかしをし ないで, 素直にのび のびと生活しようと する態度を育てる。</p>	1	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 正直になれないときを思い起こす。</li> <li>2 「いたずらがき」を読んで話し合う。 ◎迷っているかばきちに, どうすればよいか教えてあげましょう。</li> <li>3 自分の生活を振り返る。 ○うそやごまかしをしないでよかったですか。</li> <li>4 正直, 誠実な児童について, 教師の体験談を聞く。</li> </ol>	<p>○○さんは, 「叱られるかもしれないけど, 正直に言えたら, 自分もみんなの心もすっきりしていい。」と正直であることのよさを考えていたな。</p> <p>(→「道徳的諸価値の理解」)</p>	
--------	---	---	---	---	--	--